

# 地球環境と世界市民

EARTH ENVIRONMENT AND GLOBAL CITIZEN

## 「地球環境と世界市民」国際協会・第6回大会の報告

平成14年12月に環境省中央環境審議会から「環境保全活動の活性化方策について(中間答申)」が出され、平成15年7月に「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が制定(10月1日施行)されました。これによって、教育、行政、NGO/NPOs、研究機関、企業等のパートナーシップの推進、そして環境教育の躍進のため、理論を実践化する基本方針の策定とその実行が期待されます。

教育行政に関して国内では、教育基本法の見直しが検討され、文部科学省の中教審から「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について(中間報告)」が出されました。これに対する疑問点や問題点を指摘した「教育基本法の見直しに対する要望」が教育関連学会から提出されました。

また世界に目を向けると、2002年8月26日から9月4日まで開かれた持続可能な開発に関する世界首脳会議(ヨハネスブルク・サミット)で日本から提案された「持続可能な開発のための教育の10年」が国連総会で採択され、2005年から世界的なキャンペーン活動が展開されることになりました。国内でもこの「教育の10年」が内実のある実践につながるよう各地で動き始めようとしています。この意味で、教育界でも重要な諸課題に正面から取り組まざるを得ない状況になっています。

こうして、地球規模で環境教育が取り上げられている状況の中、国内では環境保全活動・環境教育推進法(略称)が法制化され、多くの教育場面で環境教育が実践されています。このような今日こそ、環境教育が方向づけのないまま表面的な活動に終わってしまわないように、ガイドラインを示唆するような「環境倫理学」および「環境教育学」の確立が求められます。また、各領域が結びつくことによって、これらの応用領域が相補・補完されていくことが必要となります。

本会の第6回大会(於甲南大学環境教育野外施設)を2003年12月20日に、開催しました。市民参画型の開催内容をベースに展開して参りましたが、「生命(いのち)の教育」、「持続可能な未来のための教育」、そして環境保全活動と環境教育推進をも視野に入れ、今後も多様な事業を予定しております。さらに、ますますの活発化を諮るための運営組織の強化も課題として残されておりますが、皆様のご支援・ご協力をお願い致します。

今大会では、国内的な視点から日本の伝統文化である餅つき大会をおこないました。また、国際的な視点からカナダ・ヴィクトリア大学における環境教育の展開をご紹介しました。



大会参加者

## 「内発的發展論とカナダの環境教育

ヴィクトリア大学 フィールド・コースを通じて」：第6回大会基調講演

谷口 文章

甲南大学 文学部 教授、「地球環境と世界市民」国際協会 会長

### 【1】日本型環境教育

- (1) フィールドにおける環境学習：学校外教育( 野外、青少年活動、ボランティア等)
- (2) カリキュラムによる環境教育：学校教育( 総合的学習の時間、クロスカリキュラム)
- (3) モデル・プログラムによる環境教育と環境学習：

「誰でも、どこでも、いつでも」利用可能( マニュアル、カリキュラムとの相異)

「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」

( 環境保全、環境教育、講習会)

### 【2】カナダ型環境教育 - ヴィクトリア大学フィールドコースを通じて -

- (1) ファースト・ネーションズ：人種問題、居留地、文化伝承、言語等
- (2) フィールドにおける環境教育活動：オルタナティブ・エコフォレストリー
- (3) ヴィクトリア大学環境学部フィールド・コース：

環境の現状と民族文化調査、自然の原体験

日本型環境教育にそのまま移植できるかどうか：

ex. アイヌ民族、水俣病問題などの反映の仕方

### 【3】環境教育における内発的發展論 アジア型環境教育を参考にして

- (1) 内発的發展論の定義：資料 参照
- (2) タイの開発教育：資料 (「開発」の概念、人間開発、適正技術)
- (3) 内発的發展論と共生：資料 ( 仏教等宗教の規範性、共同体、村おこし)
- (4) ガンジーの仏教思想と環境教育：資料  
( ノンフォーマル教育、教育の目的)

まとめ：日本・カナダ( 欧米 )・東南アジア型環境教育の相異を認識した上で、環境教育のグローバル・スタンダード化が必要である。その際、従来日本の環境教育では採り上げられなかった内発的發展論の考え方も考慮に入れることが大切である。



基調講演：

「内発的發展論とカナダの環境教育

ヴィクトリア大学 フィールド・コースを通じて」

# 総会報告

「地球環境と世界市民」国際協会事務局

第6回総会が2003年12月20日(於:甲南大学環境教育野外施設)に開催された。以下、議事のとおり進行され、すべての審議事項に対して、出席者から承認が得られた。「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」の施行後、現在基本方針の策定に向けて取り組まれているが、それに対して、当協会においても法律の有効活用の仕方についての検討が必要であることが議論された。また、役員組織の再編が継続審議となっているが、事務局及び運営組織との調整を経て組織強化及び運営強化を諮っていることが報告された。

## 総会式次第

1. 開会宣言
2. 会長の挨拶
3. 審議事項:(以下、総会議案を御参照ください。)
  - (1) 第1号議案:2002年度事業報告(案)
  - (2) 第2号議案:2003年度事業計画(案)
  - (3) その他
4. 役員組織の再編について
5. 閉会の挨拶

## 「地球環境と世界市民」国際協会 第6回総会議案

開催場所:2003年12月20日(土)13:30~14:00

開催場所:甲南大学 環境教育野外施設

第1号議案「地球環境と世界市民」国際協会2002年度事業報告(案)

### 運営に関する会議

1. 第5回総会(2002年8月21日 於 甲南大学環境教育野外施設)を開催した。
2. 2002年度運営委員会として、第1回拡大運営委員会(2002年8月15日 於 甲南大学)、第2回拡大運営委員会(2002年8月21日 於 甲南大学環境教育野外施設)を開催した。
3. 2002年度理事会として、第1回理事会(2002年12月1日 於 甲南学園甲友倶楽部)を開催した。

### 刊行物の発行

1. 年報『地球環境と世界市民』第3号を2003年1月20日、第4号を2003年3月20日に刊行予定。
2. 『地球環境と世界市民ニュースレター』第6号を2002年7月1日、第7号を2002年7月15日、第8号を2002年10月1日に刊行した。

### 年次大会の開催

1. 2002年度の年次大会として「地球環境と世界市民」国際協会第5回大会を、2002年8月21日(水)・22日(木)に甲南大学環境教育野外施設において開催した。

### 国際会議の開催

1. 第2回日中環境教育情報交流シンポジウム「日中のパートナーシップによる環境教育 総合的な学習をめぐって」を、2002年11月30日(土)に甲南大学において開催した。

### 共催・特別協力等の事業活動

1. 日本環境教育学会関西支部第11回研究大会を共催した。
2. 国際環境教育シンポジウム2002「環境教育のための学校教育支援」(宮城教育大学)を特別協力した。

### 各種委員会の活動

**企画委員会**：事業部会の運用方法について内規作成中。

**編集委員会**：年報『地球環境と世界市民』第3号・第4号を現在編集中。

**広報委員会**：『地球環境と世界市民ニュースレター』第6～8号を発行した。

**国際交流委員会**：第2回日中環境教育情報交流シンポジウムを開催した。第3回日中環境教育情報交流シンポジウムを企画したが、開催延期。現在、中国・ハルビン工業大学と会期調整中。

## 第2号議案「地球環境と世界市民」国際協会2003年度事業計画(案)

1. 第6回総会を開催する(2003年12月20日(土)於甲南大学環境教育野外施設)。
2. 第6回大会を開催する(2003年12月20日(土)於甲南大学環境教育野外施設)。
3. 年報『地球環境と世界市民』第5号を刊行する。
4. 『地球環境と世界市民ニュースレター』第9・10・11・12を刊行する。
5. 諸外国の環境倫理・教育関連学協会等との交流を促進する。
6. 環境倫理・環境教育に関する各ワーキング・グループの活動を実施・推進する。
7. 各種事業の共催・協力・後援等を行なう。
8. その他、協会の発展に寄与する活動を行なう。

## エコッキング研究会

### もちつきの仕方

高原哲史（神戸親和女子大学 大学院）

#### 1. 準備

もち米を洗い、重量の約1.2倍の水（もち米の全部が浸るより少し多め）に浸しておく。（もちつきの前日）

三段式甑の一番下の段に水を入れ、コンロ等で沸騰させる。

臼にお湯を入れ、温めておく。

杵をお湯または水に浸しておく。

もちつきのかえし用のお湯を準備しておく。

お湯は常に沸かしておく。

#### 2. もち米を蒸す。

三段式の甑の二段目、三段目に、それぞれふきんをかけ、そこに前日の晩から水に浸したもち米を約2升（せいろの大きさに応じて）入れ、タオルで包む。

一番下の段には沸騰したお湯を入れ、その上に重ねる。約40分間蒸す（もち米を噛んでみて芯がなくなっていたら完成）。お湯を取り除いた臼の中へ入れる。

#### 3. もちつきをする。

もち米を、杵の頭を持ちながら、すり潰す。

ある程度すり潰せたら、最初のうちは軽くつく。

米粒がなくなってきたら、本格的につく。

もちつきは、杵を振り上げたら、そのままの勢いでつくこと。振り下ろすときに力を入れすぎると、臼を叩いてしまうので、あまり力を入れなくて良い。

もちをひっくり返す時に、あまり手に水をつけすぎないこと。水をつけすぎると米が潰れなくなる。

もちをつく人とかえし人はひっついて行うこと。離れすぎていると頭を叩いてしまう可能性がある。

米粒がなくなったら完成。すぐに丸め始める。



#### 4. もちを丸める

もちとり粉（上新粉）をまぶし、ちぎって丸める。

もちを丸めて、しわとしわをすり潰すようにして、もちのしわをなくす。

丸めたもちに、もちとり粉（上新粉）をつけて、なるべくくっつかないようにして置く。冷えないうちに丸めることが重要。時間との勝負である。



## フィールドワーク報告

### 甲南幼稚園でのもちつき大会

岡田泰典（甲南大学 大学院）

2004年1月13日（火）に甲南幼稚園において餅つきをおこないました。参加者は甲南幼稚園の園児84名と甲南幼稚園・甲南小学校の教員と甲南大学谷口研究室の学生・大学院生です。この活動は、文部科学省指定研究開発学校の一環としておこなわれ、もち米は、甲南小学校・甲南中高等学校・甲南女子中高等学校・甲南大学谷口研究室の学生という異年齢集団が一緒になって無農薬で作ったものを使用しました。

今まで、小学生・中学生・高校生・大学生・院生で活動をしてきましたが、幼稚園児と活動することは今回が初めてでした。今回の活動で研究開発学校のテーマでもある「環境教育を通じた幼・小・中・高・大の18年一環教育を通して展開する研究開発」ということが、全体としておこなうことができたと思います。

幼稚園児と一緒に餅つきをおこないましたが、園児は非常に純粋でした。杵は、一緒に持って餅をつきました。つきたてのお餅はとてもおいしく、先生方からは、「お餅の嫌いな子も食べれるようになりまして。」「普段できないことを園児が体験できよい経験となりました。」という感想が聞かれました。私たちも園児と新しい活動ができ大変よい経験となりました。



## 市民REPORT

ベンチャー隊 隊長もチャレンジ！！

北垣内敏幸（2002年度ひょうごオープンカレッジ卒業生）

六甲全山縦走は、須磨から宝塚までの56キロを1日で走破するものです。神戸市の資料によると、六甲はアップダウンが激しくて登りの合計が3000メートル以上あり北アルプスの上高地から穂高岳までの登りの1.7倍以上あってその往復の距離を1日（穂高岳登山では1泊します）で行きます。その過酷さは定評があり神戸では「アルピニストの卒業試験」と言っています。私は、穂高が好きで何度も行っていますが、アルプス登山の方がずっと楽です。今回、V Sの中村君にアドバイスをしているうちに自分も挑戦してみたくなりました。年々体力の衰えが顕著になり始めたので、ここで自分自身に気合を入れる為にも行こうと思いました。中村君と同じ高校生の時、仲間と初めて挑戦してから（当時はもうひとつ向こうの塩屋から出発）今回で3回目となり、実に20年ぶりのチャレンジです。当日は、スタート時間が遅かったので時間切れにならないかと冷や冷やしながらも16時間で無事ゴールできました。中村君は1時間半ほど早くゴールしていて「キャリアより若さか！」と思い知った1日でした。「中村君、よく頑張ったね！完走おめでとう！」アワード報告書楽しみにしています。実は本番より報告書の方がスカウトにとってシンドイらしいのです。

（トーテムポール2 Vol.14より転載）

## ネットワーク掲示板

第91回 日本保健医療行動科学会 近畿支部研究会

日時：2004年3月27日（土）13時30分～16時30分

話題：がん患者のQOL向上のための心身医療の実践 サイコオンコロジー入門

講師：所 昭宏（国立療養所近畿中央病院 心療内科）

会場：兵庫医科大学9号館5階9-3会議室

（阪神 武庫川駅西出口から徒歩5分）



参加費：500円（会員・非会員とも）

問い合わせ先 日本保健医療行動科学会近畿支部事務局

〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4 神戸市看護大学 吉岡研究室

E-mail:yoshioka@tr.kobe-ccn.ac.jp Tel/Fax:078-794-8074

日本環境教育学会第15回大会

開催期間：2004年7月30日（金）～8月1日（日）

会場：立教大学（池袋キャンパス／東京都豊島区西池袋3-34-1）

参加・発表申込み等の予定：

・大会参加 事前申込み 6月30日締切 ・一般講演発表申込 5月10日締切

・一般講演発表要旨原稿 6月18日締切 ・ポスター発表・関連小集会 5月10日締切

参加費：事前申込の場合（6月30日）一般4000円 学生2500円

7月1日～当日申込の場合 一般5000円 学生3500円

交通機関：JR 山手線・埼京線・高崎線・東北本線・東武東上線・西池袋線、

地下鉄丸ノ内線・有楽町線、「池袋駅」下車、西口より徒歩約5分

お問い合わせ先：日本環境教育学会第15回大会（東京）実行委員会事務局

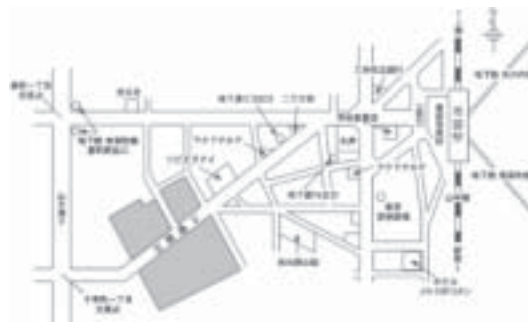
〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8

東京農工大学農学部環境教育学研究室内

TEL/FAX：042-367-5597

E-mail：asaoka@cc.tuat.ac.jp

（朝岡幸彦）



## エコ・クッキング レシピVol. 8

いつ封を開けたかわからないマヨネーズが冷蔵庫にありませんか？買うのではなく、家にある食材でマヨネーズを必要な分だけ作ってみませんか？ 桔梗佑子（甲南大学）

### マヨネーズ（約1カップ）

**材料** 卵黄 1個、マスタード 大さじ1、酢 大さじ1、サラダ油 200ml、塩 小さじ1/3、こしょう 少々（できれば挽きたて）

### 作り方

1. 卵黄、マスタード、塩、こしょう、酢の半量を大き目のボールに入れ、泡だて器で白っぽくなるまで混ぜる。
2. 1.に、泡立て器で攪拌しながら、サラダ油を糸を引くように少しずつたらし加え、よく混ぜる。
3. サラダ油を半量くらい入れ、少し固くなってきたら、残りの酢を加える。
4. 泡立て器でよく攪拌しながら、残りのサラダ油を少しずつ加え、全部入れたら力強く攪拌して、なめらかに仕上げる。
5. 味を見て、塩、こしょうで調味する。

ふたつきのビンに入れ、冷蔵庫で3～4日保存可能。

ガーリックをすりおろしたり、カレー粉を入れたりバリエーション楽しめます。

### マヨネーズの応用編

かたゆで卵、玉ねぎ、パセリ、キュウリのピクルスを全てみじん切りにし、レモン汁、塩、こしょうとともにマヨネーズに混ぜる。

## 事務局だより

### 1. 2003年度拡大運営委員会議事抄録

（日時：2003年12月20日 於：甲南大学環境教育野外施設 出席：飯尾・岡田・石神・楠・田口・谷口（議長）・中野・原口・松田・渡辺）

（1）総会議案について （2）役員組織の再編について （3）「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」基本方針の策定について

### 2. 投稿論文の募集について

年報VOL.4への論文（研究論文・資料・報告）の投稿を募集しております。年報巻末に掲載してあります投稿規定にしたがって御応募ください。2月末日までに下記事務局までエントリーの旨をお知らせください。

### 3. 事務局からのお願い

自宅及び所属先の連絡先（住所、TEL・FAX、E-mail等）に変更がある方は、下記事務局へ必ずお知らせくださいますようお願い致します。

---

「地球環境と世界市民」国際協会ニュースレター No.11

事務局：「地球環境と世界市民」国際協会

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1

甲南大学文学部人間科学科 谷口研究室内

Tel/Fax.078-435-2368 E-mail: fumiaki@konan-u.ac.jp

Homepage: [http://www.nk.rim.or.jp/~fumiaki/iaeg/iaeg\\_j.html](http://www.nk.rim.or.jp/~fumiaki/iaeg/iaeg_j.html)

---